

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 30 年 8 月 21 日)

- |    |   |                  |     |
|----|---|------------------|-----|
| 1  | 平成 30 年 7 月豪雨に関する観光関係者との意見交換会の開催結果と今後の取組について  | 観光戦略課            | P1  |
| 2  | 平成 29 年観光客入込動態調査結果を受けた観光誘客等について               | 観光戦略課            | P3  |
| 3  | 「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の開始について                       | 観光戦略課            | P7  |
| 4  | ユネスコ世界ジオパーク再認定に係る現地審査の概要について                  | 観光戦略課            | P8  |
| 5  | 鳥取県内空港へのチャーター便の就航状況について                       | 観光戦略課            | P10 |
| 6  | 第 16 回東アジア地方政府観光フォーラム (EATOF2018) 総会の開催結果について | 観光戦略課            | P11 |
| 7  | 米国バーモント州との姉妹提携記念式典の結果について                     | 交流推進課            | P15 |
| 8  | 日本人ブラジル移住 110 周年記念祭典などへの鳥取県訪問団の派遣結果について       | 交流推進課            | P19 |
| 9  | 名探偵コナンまつり in まんが王国とっとりの開催結果について               | まんが王国官房          | P21 |
| 10 | 国際声優コンテスト「声優魂」in まんが王国とっとり決勝大会の開催について         | まんが王国官房          | P22 |
| 11 | フラダンス全国大会の開催について                              | 中部総合事務所<br>地域振興局 | P23 |
| 12 | 夏の伯耆国「大山開山 1300 年祭」関係イベント、その他のトピックス等について      | 西部総合事務所<br>地域振興局 | P24 |

## 観光交流局

# 平成30年7月豪雨に関する観光関係者との意見交換会の開催結果と今後の取組について

平成30年8月21日  
観光戦略課

平成30年7月豪雨の観光面への影響の払拭に向けて、7月31日に観光関係者との意見交換会を開催しました。この意見交換会の内容を踏まえ、本県への誘客促進を目的としたバスツアー造成に対する支援の引き上げや国内外への情報発信など、観光・宿泊施設の観光需要の回復に向け、引き続き取り組んでいきます。

## 1 平成30年7月豪雨によるキャンセルの状況

集計期間(7月5日～22日): 9,060人・泊 ※鳥取、東郷・はわい、三朝、皆生温泉の各旅館組合のとりまとめ結果
--

## 2 観光関係者との意見交換会の開催結果

- (1) 日時 平成30年7月31日(火) 午後1時30分から2時30分まで
- (2) 場所 倉吉シティホテル(倉吉市山根543-7)
- (3) 内容 キャンセル状況と観光需要回復に向けた今後の取組について(意見交換)
- (4) 出席者

- ア 観光関係団体等(鳥取県観光連盟、鳥取温泉ホテル旅館組合、皆生温泉旅館組合、鳥取県旅館組合おかみの会、鳥取県観光土産品協議会、米子市観光協会、鳥取県観光事業団、西日本旅客鉄道株式会社米子支社、JTB鳥取支店、鳥取県観光施設連絡協議会)
- イ 市町村(鳥取市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町、大山町)

### (5) 主な意見等

- ・8月の予約が入り始めたところであり、夏休みの客足は戻りつつある。ただし、7月のキャンセル分が取り戻せず、8月の後半の集客が重要である。
- ・鳥取県への来客の減少に伴い、土産品についても売り上げが落ちている。
- ・他県では、バス支援の取組が始まっており、本県でも支援を検討いただきたい。また、宿泊旅行だけではなく、日帰り旅行への支援も検討いただきたい。
- ・鳥取県に来訪された方に対して、利用券のようなものが提供できれば良い。

## 3 観光需要の回復に向けた取組の実施状況

- (1) 鳥取県観光連盟プロモーター(関西、中京、首都圏)による県外旅行会社への働きかけ

- ア 本県への送客促進及び旅行商品造成
- イ 本県の観光素材の広告や販促活動(現地研修会、店頭での取組)

### (2) バスを活用した観光客誘致支援

本県での宿泊・周遊を伴う団体観光客を誘致するため、県外からのバスツアー造成に対する支援内容を引き上げる。※鳥取中部地震後の対策と同様の引き上げ額

(宿泊旅行) : バス1台当たりの補助額を60千円に引き上げ(従前30千円)

(日帰り旅行) : バス1台当たりの補助額を30千円に引き上げ(従前15千円)

### (3) 個人客向けクーポンの提供

個人客を対象とした期間限定のクーポン(館内・施設内利用券やお土産プレゼント)を発行し、本県への誘客促進を図る。

#### (4) 情報発信の取組

因美線、伯備線の全線復旧を周知するため、関係先と連携し、情報発信の取組を実施する。  
また、島根県及びJRと連携した誘客促進に取り組む。

ア 山陰両県の観光PR、山陰デスティネーションキャンペーン開催のお知らせ、特急列車復旧のお知らせのため、関西圏の新聞に広告を掲出しPRした。

イ 観光PRキャラバンの実施

旅行会社やメディア、主要駅でのPRキャラバンを実施する。

#### (5) 国外への情報発信

国内観光客の減少を外国人観光客の増加で補うため、海外への誘客プロモーションを行うとともにエアソウル6便化(10/28～)に向けた誘客促進を強力に実施する。

- ・豪雨風評被害対策のためのプロモーションの実施(韓国、香港、シンガポール、タイ等)
- ・ソウル旅行会社のWEBでのPR、日本向けPR(ポスター、CM等)

#### (6) 今後の取組

国の「観光支援事業費補助金」を活用し、周遊旅行の促進を図る。

ア 対象府県 11府県(岐阜県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、福岡県)

イ 周遊旅行促進事業の内容

- ・「2府県以上の府県で2泊以上連続して」宿泊した場合に、宿泊料金を一定程度支援する。
- ・補助額：岡山県、広島県、愛媛県・・・6,000円/泊  
その他(鳥取県ほか)・・・4,000円/泊

### 4 関係先への要望活動

#### (1) 鳥取県の取組

(株)JT Bに対して、本県への重点的な送客の実施を要望し、「国や県の施策も活用しながら最大限支援していく。」旨の回答をいただいた。

要望日	要望先	要望者
H30.8.6	(株)JT B 代表取締役社長 高橋 広行	平井知事

#### (2) 鳥取県、島根県の取組

JR西日本(株)に対して、鉄道路線が早期に運行再開されたことに対する感謝の意を伝えるとともに、残された運休区間の早期再開及び安全性の向上をお願いした。

要望日	要望先	要望者
H30.8.1	西日本旅客鉄道(株) 代表取締役社長 来島 達夫	平井知事 藤原島根県副知事

#### (3) 中国地方知事会としての取組(鳥取県が要望書の取りまとめ及び要望を実施)

落ち込んでいる観光需要を喚起するため、中国地方への重点的な支援を要望した。

要望日	要望先	要望者等
H30.8.3	西日本旅客鉄道(株) 代表取締役社長 来島 達夫	鳥取県関西本部長が持参
H30.8.6	(一社)日本旅行業協会 会長 田川 博己	平井知事

# 平成29年観光客入込動態調査結果を受けた観光誘客等について

平成30年8月21日  
観光戦略課

平成29年観光入込客数は全体的に減少しており、特に、主な発地である近畿・中国からの入込客数の減少が大きくなりました。平成30年度は、近畿等を中心に7月豪雨災害による新規予約の落ち込み等を国内海外からの誘客で盛り返すことができるよう一層誘客施策に注力していきます。

## 1 平成29年観光客入込動態調査結果(抜粋)

・観光入込客数(延人数)	: 18,916千人(対前年比▲448千人、▲2.3%)
・観光入込客数(実人数)	: 9,230千人(対前年比▲897千人、▲8.9%)
・宿泊者数(実人数)	: 2,415千人(対前年比▲23千人、▲0.9%)
・温泉地入湯客数	: 1,063千人(対前年比▲41千人、▲3.7%)
・外国人宿泊者数(延べ人数)	: 140,530人(対前年比+40,210人、+40.1%)

※中国五県の宿泊者数(実人数)は、山口県(▲187千人、▲5.4%)と島根県(▲225千人、▲7.9%)が減少し、岡山県(+380千人、+9.0%)と広島県(+183千人、+2.4%)は増加した。(増加宿泊旅行統計調査(観光庁))

## 2 傾向と今後の取組

### (1) 国内

#### 〈傾向〉

・平成29年観光入込客数は、平成28年に比べ減少した。(▲8.9%)
・このうち県外観光客の8割を占める近畿・中国地方からの入込客数が減少したほか、交通手段で見ても貸切バス、自家用車利用による入込客が減少した。特に、貸切バスによる入込客は平成26年の貸切バスの料金制度改正以降減少が続いている。
(要因)・豪雪等による冬季の自家用車利用の敬遠
・料金改正によりバス料金が高騰し、バスツアー商品造成が敬遠されている等

○発地別観光入込客数(実人数) (単位:千人、%)

発地名	平成29年		対前年増減数	
	人数	構成比	増減数	増減割合
中部	264	2.9	▲15	▲5.4
近畿	2,521	27.3	▲237	▲8.6
中国	2,207	23.9	▲212	▲8.8
県内	3,323	36.0	▲355	▲9.7
合計	9,230	100.0	▲897	▲8.9

○利用交通機関別観光入込客数(実人数) (単位:千人、%)

交通機関	平成29年		対前年増減数	
	人数	構成比	増減数	増減割合
貸切バス	423	4.6	▲124	▲22.6
列車	598	6.4	▲6	▲0.1
飛行機	255	2.8	+5	-
自家用車	7,022	50.0	▲607	▲7.9
合計	9,230	100.0	▲542	▲5.3

### 〈今後の主な取組〉

#### ①近畿圏の旅行会社への働きかけ

事業名	「ぐるっと山陰」誘客促進事業(バス旅行商品支援・旅行商品造成支援)	
概要	鳥取県観光連盟のプロモーターを活用し、県外旅行社への旅行商品造成を働きかける。	
区分	バス旅行商品支援	バス旅行商品支援
H29実績	・宿泊あり:1台1泊あたり40千円を補助 ・宿泊なし:1台あたり20千円を補助 ・助成実績925台のうち、 関西地方436台、中国地方227台	・宿泊あり:1台1泊あたり40千円を補助 ・宿泊なし:1台あたり20千円を補助 ・助成実績925台のうち、 関西地方436台、中国地方227台

#### ②7月豪雨災害の風評被害払拭のための誘客促進

- ・バス旅行商品造成支援(「ぐるっと山陰」誘客促進事業)  
(宿泊旅行):1台当たりの補助額を60千円に引き上げ(従前30千円)  
(日帰り旅行):1台当たりの補助額を30千円に引き上げ(従前15千円)
- ・個人客向けクーポンの提供(館内・施設内利用券やお土産プレゼント)
- ・因美線、伯備線の全線復旧を周知するため、交通・旅行事業者等関係先と連携し、関西圏での新聞広告、観光PRキャラバン、駅頭PRイベント等を実施する。
- ・JR各社による中国5県復興応援キャンペーン(時期:8月下旬~12月末)も実施予定である。

## (2) 国外

## 〈傾向〉

平成29年の外国人延べ宿泊者数は、誘客促進事業の成果により主要20か国のうち17か国で増加し、特に韓国、香港は1万人を超える増加となった。

〈今後の主な取組〉国際定期便を活用した誘客、チャーター便誘致等を強化

- ・10月下旬から週6往復に増便予定の米子ソウル便の一層の利用促進（商品造成F AMツアー、SNSを活用したPR等）
- ・安定した搭乗率を維持している米子香港便の一層の利用促進（香港のTV、旅行誌等でのPR等）

## (参考) 平成29年観光客入込動態調査結果の概要

## (1) 県外県内別観光入込客数 (実人数)

(単位：千人、%)

区分	平成29年		平成28年		前年(平成28年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減割合
県外	5,907	64.0	6,449	63.7	▲542	▲8.4
県内	3,323	36.0	3,678	36.3	▲355	▲9.7
合計	9,230	100.0	10,127	100.0	▲897	▲8.9

## (2) 県外県内別観光入込客数 (延人数)

(単位：千人、%)

区分	平成29年		平成28年		前年(平成28年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減割合
県外	13,998	74.0	14,252	73.6	▲254	▲1.8
県内	4,918	26.0	5,112	26.4	▲194	▲3.8
合計	18,916	100.0	19,364	100.0	▲448	▲2.3

## (3) 地域別観光入込客数 (実人数)

(単位：千人、%)

広域エリア名	平成29年		平成28年		前年(平成28年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減割合
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	2,632	28.5	2,877	28.4	▲245	▲8.5
浦富海岸・岩井温泉周辺	449	4.9	458	4.5	▲9	▲2.0
八頭周辺	323	3.5	360	3.6	▲37	▲10.3
とっとり梨の花温泉郷周辺	1,265	13.7	1,349	13.3	▲84	▲6.2
東伯耆周辺	592	6.4	616	6.1	▲24	▲3.9
米子・皆生温泉周辺	1,095	11.9	1,230	12.1	▲135	▲11.0
境港周辺	1,552	16.8	1,732	17.1	▲180	▲10.4
大山周辺	1,152	12.5	1,317	13.0	▲165	▲12.5
奥日野周辺	170	1.8	188	1.9	▲18	▲9.6
合計	9,230	100.0	10,127	100.0	▲897	▲8.9

## (4) 発地別観光入込客数 (実人数)

(単位：千人、%)

発地名	平成29年		平成28年		前年(平成28年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減割合
北海道・東北	34	0.4	41	0.4	▲7	▲17.1
関東	454	4.9	495	4.9	▲41	▲8.3
中部	264	2.9	279	2.8	▲15	▲5.4
近畿	2,521	27.3	2,758	27.2	▲237	▲8.6
中国	2,207	23.9	2,419	23.9	▲212	▲8.8
四国	304	3.3	320	3.2	▲16	▲5.0
九州・沖縄	123	1.3	137	1.4	▲14	▲10.2
県内	3,323	36.0	3,678	36.3	▲355	▲9.7
合計	9,230	100.0	10,127	100.00	▲897	▲8.9

(5) 利用交通機関別観光入込客数(実人数)

(単位:千人、%)

交通機関	平成29年					平成28年					増減数	
	計	県外		県内		計	県外		県内		県外	県内
		人数	構成比	人数	構成比		人数	構成比	人数	構成比		
貸切バス	423	400	6.8	23	0.7	547	506	7.8	41	1.1	▲106	▲18
路線バス	373	317	5.4	56	1.7	441	364	5.6	77	2.1	▲47	▲21
列車	598	566	9.6	32	0.9	604	558	8.7	46	1.2	8	▲14
飛行機	255	255	4.3	-	-	250	250	3.9	-	-	5	-
自家用車	7,022	3,969	67.2	3,053	91.9	7,629	4,346	67.4	3,283	89.3	▲377	▲230
タクシー	40	37	0.6	3	0.1	55	49	0.8	6	0.2	▲12	▲3
その他	519	363	6.1	156	4.7	601	376	5.8	225	6.1	▲13	▲69
合計	9,230	5,907	100.0	3,323	100.0	10,127	6,449	100.0	3,678	100.0	▲542	▲355

(6) 月別観光入込客数(実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成29年	591	408	716	716	999	600	801	1,505	689	759	851	595	9,230
平成28年	672	521	732	782	1,078	625	920	1,630	815	887	781	684	10,127
増減数	▲81	▲113	▲16	▲66	▲79	▲25	▲119	▲125	▲126	▲128	70	▲89	▲897
増減割合	▲12.1	▲21.7	▲2.2	▲8.4	▲7.3	▲4.0	▲12.9	▲7.7	▲15.5	▲14.4	+9.0	▲13.0	▲8.9

(7) 月別宿泊者数(実人数)

(単位:千人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成29年	159	154	219	169	213	165	214	294	185	217	241	185	2,415
平成28年	171	179	223	188	207	171	217	304	206	194	199	179	2,438
増減数	▲12	▲25	▲4	▲19	6	▲6	▲3	▲10	▲21	23	42	6	▲23
増減割合	▲7.0	▲14.0	▲1.8	▲10.1	+2.9	▲3.5	▲1.4	▲3.3	▲10.2	+11.9	+21.1	+3.4	▲0.9

※出典:観光庁宿泊旅行統計調査

(8) 温泉地入湯客数

(単位:人、%)

温泉地名	平成29年		平成28年		前年(平成28年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減割合
鳥取温泉	76,476	7.2	78,872	7.1	▲2,396	▲3.0
吉岡温泉	25,134	2.4	25,250	2.3	▲116	▲0.5
岩井温泉	12,249	1.2	13,464	1.2	▲1,215	▲9.0
浜村温泉	15,298	1.4	13,789	1.2	1,509	+10.9
鹿野温泉	16,281	1.5	15,618	1.4	663	+4.2
はわい温泉	122,827	11.6	121,741	11.0	1,086	+0.9
東郷温泉	26,852	2.5	28,507	2.6	▲1,655	▲5.8
三朝温泉	356,591	33.5	365,776	33.1	▲9,185	▲2.5
関金温泉	23,340	2.2	23,855	2.2	▲515	▲2.2
皆生温泉	388,032	36.5	417,380	37.8	▲29,348	▲7.0
合計	1,063,080	100.0	1,104,252	100.0	▲41,172	▲3.7

※入湯税から算出

## (9) 外国人宿泊者客数

(単位：人、%)

年度	平成29年	平成28年	増減数	対前年比
人数	140,530	100,320	+40,210	+140.1

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査（確定値）外国人延べ宿泊者数（宿泊施設従業者数10人未満の施設を含む。）

## (10) 国籍別外国人延べ宿泊者数（確定値）（宿泊施設従業者数10人以上の施設のみ）（単位：人、%）

国籍	平成29年		平成28年		前年(平成28年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減割合
韓国	49,580	39.6	35,080	39.1	14,500	+41.3
中国	10,990	8.8	10,890	12.1	100	+0.9
香港	27,530	22.0	15,500	17.3	12,030	+77.6
台湾	16,190	12.9	13,280	14.8	2,910	+21.9
アメリカ	2,680	2.1	1,920	2.1	760	+39.6
カナダ	600	0.5	510	0.6	90	+17.6
イギリス	750	0.6	460	0.5	290	+63.0
ドイツ	1,240	1.0	810	0.9	430	+53.1
フランス	670	0.5	780	0.9	▲110	▲14.1
ロシア	710	0.6	610	0.7	100	+16.4
シンガポール	780	0.6	770	0.9	10	+1.3
タイ	1,750	1.4	2,190	2.4	▲440	▲20.1
マレーシア	660	0.5	540	0.6	120	+22.2
インド	150	0.1	60	0.1	90	+150.0
オーストラリア	570	0.5	460	0.5	110	+23.9
インドネシア	160	0.1	160	0.2	0	0.0
ベトナム	540	0.4	210	0.2	330	+157.1
フィリピン	200	0.2	110	0.1	90	+81.8
イタリア	190	0.2	180	0.2	10	+5.6
スペイン	30	0.0	120	0.1	▲90	▲75.0
その他	8,440	6.7	4,900	5.5	3,540	—
不明	770	0.6	270	0.3	500	—
合計	125,180	100.0	89,810	100.0	35,370	+39.4

※出典：観光庁宿泊旅行統計調査

# 「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の開始について

平成30年8月21日  
観光戦略課

鳥取県が「カニの水揚げ日本一」であることを切り口に、「松葉がに」や「ベニズワイガニ」など「鳥取のカニ」の認知度向上と宿泊を伴う誘客対策を兼ねた「蟹取県ウェルカニキャンペーン（平成30年9月1日（土）～平成31年2月28日（木）」を実施します。

今年で5回目を迎える今回のキャンペーンは、県内宿泊者を対象とした「鳥取のカニ」プレゼント企画に加え、日帰りの方々も楽しめるよう、カニをラッキーアイテムとして県内を周遊するスタンプラリーとフォトコンテストを実施します。

## 1 キャンペーンの概要

### (1) 宿泊者を対象とした「鳥取のカニ」プレゼント

期間：平成30年9月1日（土）～平成31年2月28日（木）

内容：期間中、県内対象宿泊施設（150施設）の宿泊者を対象に、応募者の中から抽選で毎月100名様（総勢600名）に「鳥取のカニ」をプレゼントする。今回は応募者の利便性を考慮し、WEBによる応募も可能とした。また、岩美町の民宿や伯耆町のペンション村など、20以上の宿泊施設を新たにキャンペーン対象施設に追加した。

### (2) ラッキースタンプラリー

期間：平成30年9月1日（土）～平成31年2月28日（木）

内容：県内7カ所をスタンプスポットに指定し、スタンプを集めることで、県内周遊を促す。特典として、集めたスタンプの数に応じて、抽選で蟹取県特製オリジナルグッズをプレゼントする。

### (3) ラッキーフォトコンテスト

期間：平成30年9月1日（土）～平成31年2月28日（木）

内容：「カニかぶる部門」と「カニスタ映え部門」の2部門を設定し、蟹取県特設WEBサイトで、カニキャップを被った写真やカニをテーマにした写真を募集する。あわせて、ホームページで紹介した応募写真の中からグランプリを決定し、受賞者に鳥取県の特産品をプレゼントする。

## 2 都内におけるウェルカニキャンペーン記者発表会の開催

(1) 開催日：平成30年8月28日（火）（予定）

(2) 場所：東京都内（予定）

(3) 開催内容：キャンペーン概要等の説明等

### 【参考】昨年度の概要と実績

#### (1) 宿泊者への「鳥取のカニ」プレゼント（毎月100名、総勢600名様）

- ・実施期間：平成29年9月1日～平成30年2月28日
- ・対象宿泊施設：県内127施設
- ・応募総数：30,928通（前年比145%。前年21,307通）  
（内訳：男性15,468人、女性15,343人、不明117人）

#### <年代別>

- ①60代：24.4%、②50代：20.2%、③40代：16.7%、④70代以上：15.4%、⑤20代以下：11.4%、⑥30代：11.2%、⑦不明：0.7%

#### <エリア別>

- ①中国・四国：13,314通（43.1%）、②関西：11,063通（35.8%）、③関東：3,409通（11.0%）、④東海・北陸：1,980通（6.4%）、⑤九州・沖縄：811通（2.6%）、⑥北海道・東北：316通（1.0%）、⑦不明・海外：35通（0.1%）

#### <都道府県別>

- ①大阪（4,337通）、②兵庫（4,058通）、③岡山（3,342通）、④広島（3,145通）、⑤鳥取（2,638通）、⑥島根（1,578通）、⑦東京（1,337通）、⑧京都（1,117通）、⑨愛知（903通）、⑩神奈川（862通）

#### (2) スタンプラリー

- ・実施期間：平成29年9月1日～平成30年2月28日
- ・応募総数：547件

#### (3) フォトコンテスト

- ・実施期間：平成29年9月1日～平成30年2月28日
- ・応募総数：554件



## ユネスコ世界ジオパーク再認定に係る現地審査の概要について

平成30年8月21日

山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

観光戦略課

8月6日から9日にかけてユネスコ世界ジオパークネットワーク（GGN）の再認定現地審査が実施されたので、その概要を報告します。

### 1 審査日程

8月6日（月）鳥取砂丘

8月7日（火）あおや郷土館・夏泊、浦富遊覧船、岩美町立渚交流館、鳥取県立山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館（以上、鳥取県）、湯村温泉（兵庫県）

8月8日（水）新温泉町山陰海岸ジオパーク館、あまるべ道の駅、玄武洞公園、日和山ガイドセンター（以上、兵庫県）

8月9日（木）大成古墳等（京都府）、コウノトリの郷公園（兵庫県）

### 2 審査員

Pablo Rivas（パブロ・リバス）氏（スペイン）

- ・ユネスコ世界ジオパークの地質遺産専門家グループのメンバー
- ・分野：地質学、環境科学

盧琴飛（Lu Qinfei：ルー・チンフェイ）氏（中国）

- ・雁蕩山（Yandangshan：イェン・ダン・シャン）ユネスコ世界ジオパーク管理委員会ディレクター
- ・分野：地質学的環境保護、一般向け科学教育

### 3 審査員講評

#### <前置き>

- 審査の中で多くの優良事例を確認することができた。  
加えて皆様の強い決意、山陰海岸ジオパークのチームやパートナー（企業・団体）の皆さんの情熱を感じることができた。
- 4年前の再認定時の指摘事項については、非常に満足できる形で達成されていることを確認した。
- ジオパークは、常に向上することを目指すため、常にどこか改善の余地がある。  
そして非常に優れたジオパークは、さらに強く難しい要求に応える責任があり、他のジオパークの良い事例となる必要がある。  
私たちは、山陰海岸ジオパークに是非このような責任に応えられるベストなジオパークになっていただきたいと考えている。

#### <指摘事項（具体的改善に触れた発言）>

##### （1）余部クリスタルタワー（あまるべ道の駅視察時）

新たにできた余部クリスタルタワーの建物自体は非常に人気があり、多くの来客を呼び込めることは理解したが、歴史や現地の状況についての解説パネルを設置すればよりよくなると考える。

## (2) 学識的知識の情報提供（玄武洞視察時）

玄武洞公園は（地磁気逆転の発見の舞台となったことにより）国際的価値が高いが、そのことについてもう少し積極的に情報提供されるとよい。国際的価値をさらに高めることができると考える。

## (3) ジオサイト（見どころ）までの交通アクセス方法

ジオサイトまでのアクセスについて、地図や交通手段に関する情報提供を強化してほしい。

## <審査員からの提案（より活発に活動するための提案）>

### (1) 世界レベルでの活動

- 例えば、山陰海岸ジオパークが中心となって、日本ジオパークネットワークの中に、「ユネスコの認定がもたらす利益」について検討する分科会を設置する。

これは、山陰海岸ジオパークの経営の改善につながるとともに、山陰海岸ジオパークで行われている取組を世界のジオパークと共有する機会にもなる。

- 他のユネスコ世界ジオパークとの姉妹提携をもっと締結してほしい。

国際的な交流、PR活動などを通じて、他のユネスコ世界ジオパークともっと経験や事例の共有を進めてほしい。

### (2) 地元企業、NPO法人等への支援の継続

山陰海岸ジオパークは、地元の企業、NPO法人に対して、新商品・新サービス開発などに対する支援を行っており素晴らしい。この姿勢は継続してほしい。

### (3) 鳥取砂丘の活用

鳥取砂丘の素晴らしさ美しさがとても印象に残った。例えば過去の気候の変動による植物の変化など、さらに学術的な発信ができると観光客が増えて現地の経済にプラスになると考える。

## 4 審査結果発表の時期

未定

（参考：平成29年夏に世界ジオパーク再認定現地審査を受けた隠岐ユネスコ世界ジオパークなどの審査結果は、平成30年2月に発表された。）

### <これまでの経過>

- H20.12 日本ジオパークネットワークの加盟認定
- H22.10 世界ジオパークネットワークの加盟認定
- H25.12 日本ジオパークネットワークの再認定及び鳥取市青谷町・鹿野町エリアへの拡大
- H26.9 世界ジオパークネットワークの再認定及び鳥取市青谷町・鹿野町エリアへの拡大
- H27.9 アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）in山陰海岸の開催
- H27.11 世界ジオパークのユネスコ正式事業認定
- H29.9 日本ジオパークネットワークの条件付き加盟認定

## 鳥取県内空港へのチャーター便の就航状況について

平成30年8月21日  
観光戦略課国際観光誘客室

平成30年7月～8月にかけて運航した韓国(務安)ー鳥取間の国際チャーター便の実施結果及び今後の県内空港へのチャーター便の就航計画について報告します。

### 1 韓国・務安ー鳥取 チャーター便の実施結果

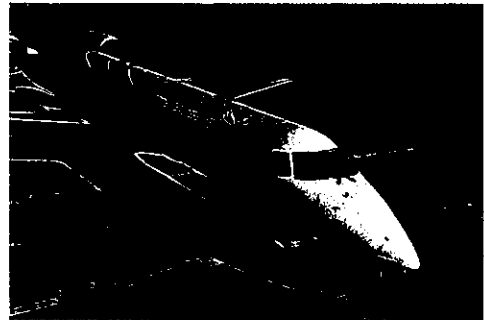
- 韓国務安からのチャーター便が7月27日(金)から29(日)、31日(火)、8月3日(金)、5日(日)の全5往復4ツアー実施され、計145名(ガイド含む)が来県し、夏の鳥取を堪能されました。
- 韓国航空会社コリアエクスプレスエア(拠点空港:襄陽(ヤンヤン)国際空港)が49人乗りジェット(エンブラエル145)を運航したもので、全て韓国からの旅行客(インバウンド専用)です。
- 4ツアーのうち2ツアー(76名)は、務安郡周辺の幼稚園で勤務する保育士のインセンティブツアーで、県内観光の途中、県西部「あけぼの幼稚園」を視察され、日本の幼稚園運営方法等について担当者から聞き取りを行いました。
- 参加者からは、以下のような感想をいただきました。

#### 【鳥取県の印象】

鳥取砂丘コナン空港での出迎えに感激した。  
自然が豊かで景色が綺麗。  
食べ物が何でも美味しい。  
砂丘が大きい。 など

#### 【特に人気があった場所】

鳥取砂丘、鳥取二十世紀梨記念館



### 2 今後の県内空港へのチャーター便の就航計画

#### (1) 台湾(台北)チャーター便(連続インバウンドチャーター)

台湾から鳥取砂丘コナン空港への初めての連続インバウンドチャーター便で、台湾から最大で930人の観光客が県内を訪れます。

##### (ア) 就航日等

①時期:平成30年11月11日(日)、15日(木)、19日(月)、23日(金)、27日(火)、12月1日(土)、5日(水) 【計7往復(6ツアー)】

②空港:鳥取砂丘コナン空港ー台湾桃園(とうえん)国際空港

(イ) 航空会社 チャイナエアライン(中華航空)

(ウ) 利用機材 ボーイング738(販売座席数155席) ※機材の座席数は158席

(エ) 催行旅行会社 台北:喜美(きび)旅行社、宏飛(こうひ)旅行社

(オ) ツアーコース

4泊5日の旅行日程で、秋の紅葉、カニのシーズンに合わせ鳥取県等を周遊。県内では、鳥取砂丘、智頭町の紅葉、倉吉及び北栄町、境港市などを訪問する予定です。

#### (2) 台湾(台中)チャーター便

台湾(台中)からの連続相互チャーター便の就航に向けて調整中です。

##### (ア) 就航日等

①時期:平成30年11月上旬(複数回で調整中)

②空港:鳥取砂丘コナン空港ー台中国際空港

(イ) 航空会社 マンダリン航空(華信航空)

(ウ) 利用機材 エンブラエル190(販売座席数102席) ※機材の座席数は104席

(エ) 催行旅行会社 台中:台中の旅行会社、鳥取:農協観光鳥取支店

## 第16回東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF2018)総会の開催結果について

平成30年8月21日  
観光戦略課

8月10日(金)から12日(日)に米子市で開催した第16回東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF2018)総会の結果について、次のとおり報告します。

### 1 開催期間

8月10日(金)から12日(日)まで

### 2 主会場

米子コンベンションセンター

### 3 主 題

「The Development of Sustainable Local Tourism-Legacy」(「持続可能な地域観光資源の開発」)

### 4 参加者(9カ国9地域 計104名)

- ・セブ州(フィリピン) アグネス・マグペイル副知事ほか
  - ・江原道(韓国) ソン・ソクドゥ行政副知事ほか
  - ・ルアンパバン州(ラオス) ボンサワン・テープパチャン副知事ほか
  - ・クアンニン省(ベトナム) ヴー・ヴァン・ジェン副省長ほか
  - ・サラワク州(マレーシア) ダトッ・アブドゥル・カリム・ラフマン・ハムザ大臣ほか
  - ・シェムリアップ州(カンボジア) リー・ソムレット副知事ほか
  - ・中央県(モンゴル) チョローンバト・サランゲレル副知事ほか
  - ・ジョグジャカルタ州(インドネシア) パク・アラム副知事ほか
  - ・鳥取県(日本) 平井 伸治知事ほか
- ※吉林省(中国)は欠席

### 5 フォーラム結果

(1) 日時 8月11日(土) 15時から17時まで

(2) 場所 米子コンベンションセンター国際会議室

(3) 内容 東アジア地方政府観光フォーラム9カ国9地域の会員地方政府は、「持続可能な地域観光資源の開発」という主題のもと、今後の進むべき方向性について意見交換を行うことでフォーラムの成果を共同宣言として取りまとめ、会員地方政府間の観光交流をより一層促進していくことについて合意した。

(共同宣言の主な内容)

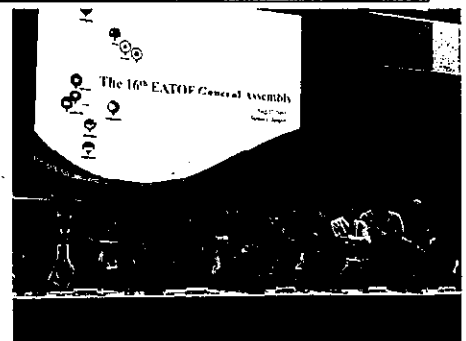
- ・2019年～2020年にEATOFグローバルキャンペーンを実施することとし、「Discover、Experience、Inspire!」という共通スローガンのもと、東アジア観光のグローバル化に向けて協力していくこと。
- ・各地方政府が実施する大規模イベントで文化・スポーツ・芸術関連パフォーマンス団の交流を活発に行うことでイベントを支援していくこと。
- ・環境保全などの新たなテーマの観光プログラム開発に向けて努力していくこと。
- ・2020年の第17回総会をベトナム・クアンニン省で、2022年の第18回総会をモンゴル・中央県で開催すること。

### 6 日 程

月 日	日 程
8月10日(金)	二地域間会談、EATOF開会式、「山の日」記念全国大会レセプション
8月11日(土)	「山の日」記念全国大会記念式典、二地域間会談、知事会議、共同宣言調印、共同記者会見、トラベルマート(商談会)
8月12日(日)	県内視察(鳥取砂丘、青山剛昌ふるさと館、お盆の大猷灯視察)

### 《参考》 EATOF加盟地域 10カ国10地方政府

鳥取県(日本)、江原道(韓国)、吉林省(中国)、中央県(モンゴル)、ジョグジャカルタ州(インドネシア)、セブ州(フィリピン)、サラワク州(マレーシア)、クアンニン省(ベトナム)、シェムリアップ州(カンボジア)、ルアンパバン州(ラオス)





# Joint Declaration

*16<sup>th</sup> EATOF Tottori General Assembly*

*11<sup>th</sup> August 2018*

*Tottori Prefecture, Japan*

We, the East Asia Inter-Regional Tourism Forum, as a platform of tourism exchange in East Asia, have successfully cooperated for the last 18 years in order to revitalize regional tourism and achieve collaborative development based on solid confidence among Member Provinces. The deep solidarity within the EATOF community has allowed active mutual promotion of and support for the mega events that are hosted by Member Provinces.

After extensive discussions on the common goal and future direction of EATOF under the theme of “Developing Sustainable Regional Tourism Legacies,”

## **WE HEREBY AGREE TO:**

1. Continue to make efforts to globalize EATOF and East Asia’s tourism by selecting “Discover, Experience, Inspire” as our global campaign slogan to realize our shared goal and designating years 2019-2020 as the years for EATOF Global Campaign. The Member Provinces shall join hands to develop a new image of Asia’s tourism going beyond the framework of regional tourism in East Asia through the EATOF platform and to grow EATOF to play a leading role in Asia’s tourism in the future;
2. Seek active exchanges of cultural, sports and art performing troupes in support of the mega events hosted by Member Countries and, as the host Member(s), to exert efforts to promote the value and uniqueness of the cultural heritage of supporting Members to make them grow as an excellent tourism asset;
3. Recognize that our endowed natural environment, cultural heritage and peace have been the strong foundation of our tourism including our strong eco-tourism industry in the region. Therefore, we will continue to pay attention to and cooperate on the development of the tourism programs based on the emerging themes such as sustainable conservation and development, peace, and eco-tourism;
4. Hold the 17th EATOF General Assembly in 2020 in Quang Ninh, Vietnam, and the 18th EATOF General Assembly in 2022 in Tuv, Mongolia; and
5. Actively cooperate to realize the goals and objectives of pending and future projects that are discussed and mutually agreed upon for the development of tourism of Member Provinces.

# Joint Declaration

East Asia Inter-Regional Tourism Forum (EATOF)  
August 10~12, 2018, Tottori Prefecture, Japan

Signed this August 11, 2018, Tottori Prefecture, Japan



Tottori, Japan



Cebu, Phillipines

平井 伸治

H.E. Shinji Hirai  
Governor, Tottori Prefecture

H.E. Agnes Magpale  
Vice Governor, Cebu Province



Gangwon, Korea



Luang Prabang, Laos

H.E. SukDoo Song  
Vice Governor, Gangwon Province

H.E. Vongsavanh THEPPHACHANH  
Vice Governor, Luang Prabang Province



Quang Ninh, Vietnam



Sarawak, Malaysia

H.E. Vu Van Dien  
Deputy Chairman of Quang Ninh Provincial People's Committee

H.E. YB Datuk Abdul Karim Rahman Hamzah  
Minister for Tourism, Arts, Culture, Youth and Sports Sarawak



Siem Reap, Cambodia



Tuv, Mongolia

H.E. Ly Samreth  
Vice Governor of Siem Reap Province

H.E. Chuluunbat SARANGEREL  
Vice Governor of Tuv Province



Yogyakarta, Indonesia

H.E. Paku Jayaningrat  
Vice Governor of Yogyakarta Special Region

(日本語訳)

## 共同宣言文

第16回 東アジア地方政府観光フォーラム総会  
2018年8月11日、日本国鳥取県

我々、東アジア地方政府観光フォーラムは、東アジアの観光交流のプラットフォームとして、会員地方政府間の強い信頼を基に地域観光の振興と共同発展を目指し、過去18年にわたり協力体制を築いてきた。我々は会員地方政府間の強い団結を通じて、会員地方政府が大規模なイベントを開催する際にお互いの地域で情報の周知を行い支援するなど積極的に相互協力を行ってきた。

会員地方政府は「持続可能な地域観光資源の開発」という主題のもと、EATOFの進むべき共通の目的や方向性について活発に意見交換を行い、次のとおり合意した。

- 1 我々は、「Discover、Experience、Inspire！」のグローバルキャンペーンスローガンを設定し、2019～2020年をEATOFグローバルキャンペーンの年に指定して、EATOFおよび東アジア観光のグローバル化に向けて努力を続ける。さらにEATOFのプラットフォームを通じ、東アジア地域観光の枠組みを超えてアジア観光の新たなイメージを作り上げ、EATOFが今後アジア観光の主導的な役割を果たせるように共に努力する。
- 2 我々は、文化・スポーツ・芸術関連パフォーマンス団の交流を活発に行い、会員国が主催する大規模イベントを支援する。イベント主催国の会員地方政府は、支援を提供する会員地方政府の文化遺産が優れた観光資産として発展するよう、その価値と独自性を周知すべく努める。
- 3 地域の有力な産業であるエコツーリズム等、当地域の観光産業の確固たる礎は天恵の自然資源、文化遺産、平和であると我々は認識している。そのため、持続可能な保全と発展、平和、エコツーリズムといった新たなテーマに基づく観光プログラムの開発に今後も関心を持ち、協力し続ける。
- 4 2020年の第17回EATOF総会は、ベトナムのクアンニン省で開催し、2022年の第18回EATOF総会はモンゴル中央県で開催する。
- 5 我々は、会員地方政府の観光発展に向けて、議論の末に合意に至った検討中および将来的な事業の目標と目的を実現すべく積極的に協力する。

## 米国バーモント州との姉妹提携記念式典の結果について

平成30年8月21日  
交流推進課  
高等学校課  
病院局総務課

2008年に「国際親善の覚書」を締結し、青少年分野等の交流を進めている米国バーモント州との姉妹提携記念式典に平井知事が出席し、同州フィル・スコット知事と「日本国鳥取県とアメリカ合衆国バーモント州との姉妹提携協定書」に調印しました。

併せて、(公財)鳥取県国際交流財団がバーモント州のNPOグリーン・アクロス・ザ・ワールドと「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定書を締結したほか、バーモント州での鳥取県や日本文化の紹介や今後の交流推進に向けた協議等を行いました。

### 1 姉妹提携協定書の調印及び記念式典

- (1) 日時 7月18日(水) 午前9時30分～11時30分(現地時間)  
(2) 場所 バーモント州政府議事堂(バーモント州モンペリエ市内)  
(3) 出席 バーモント州関係者：フィル・スコット州知事、ピーター・リンチ代表(NPOグリーン・アクロス・ザ・ワールド)、木田正俊教授(バーモント州立大学医学部教授)・玲子夫妻ほか  
日本政府関係者：道井緑一郎総領事(在ボストン日本総領事)ほか  
鳥取県行政関係者：平井伸治知事、中林宏敬病院事業管理者、遠藤俊樹交流推進課長、徳田章人県教育委員会高等学校課長ほか  
鳥取県民間関係者：内田克彦常務理事((公財)鳥取県国際交流財団)ほか

#### (4) 概要

- これまでの両地域の交流の意義を再確認し、両地域の今後の更なる交流拡大を図るため、両知事が姉妹提携協定書(別添)の調印を行うとともに、友情の証として、「キー・トゥ・ザ・シティ(「街に自由に入場できる鍵」)のことで信頼の証として特別な人に与えられる)を交換した。
- 姉妹提携協定書の調印に当たり、フィル・スコット知事より、これまでの両地域の交流の歴史を紹介した上で、姉妹提携の両地域にとっての重要性について挨拶を行った。また、「この姉妹提携を機に両地域の観光や貿易を促進させていきたい」との発言があった。
- 平井知事からは、バーモント州が舞台となったサウンド・オブ・ミュージックの中で歌われたエーデルワイスの歌詞「わが故郷に幸あれ」を歌い、バーモント州の発展を祈るとともに、姉妹提携を機に、これまでの交流の実績を糧に、青少年、医療、教育などでの交流について、一層拡大、発展させていきたいとの発言があった。
- 道井在ボストン総領事からは、今回の両地域の姉妹提携が、世界において重要な役割を果たしている日米両国の国民の相互理解と発展に資するものであり、一層の交流の発展を期待する旨のお祝いの言葉があった。また、同総領事から、今回の姉妹提携実現など、これまでの日米両国の交流推進に関し、ピーター・リンチ代表、木田正俊・玲子夫妻へ表彰状が授与された。
- 記念式典において、姉妹提携を祝し、大西瑞香さん(米子市)が琴の演奏を披露した。

### 2 交流10周年・姉妹提携記念夕食会(NPOグリーン・アクロス・ザ・ワールド主催)

- (1) 日時 7月17日(火) 午後6時30分～9時(現地時間)  
(2) 場所 キャピトル・プラザ・ホテル(バーモント州モンペリエ市内)  
(3) 出席 バーモント州関係者：ピーター・リンチ代表(NPOグリーン・アクロス・ザ・ワールド)、木田正俊教授(バーモント州立大学医学部教授)・玲子夫妻ほか  
日本政府関係者：道井緑一郎総領事(在ボストン日本総領事)ほか  
鳥取県行政関係者：平井伸治知事、中林宏敬病院事業管理者、遠藤俊樹交流推進課長、徳田章人県教育委員会高等学校課長ほか  
鳥取県民間関係者：内田克彦常務理事((公財)鳥取県国際交流財団)ほか

#### (4) 概要

- 姉妹提携調印の前日、これまで両地域の交流に関わってきた民間関係者が参加し、両地域の交流10周年及び姉妹提携を記念した夕食会が開催された。
- 夕食会の開催に先立ち、両地域の青少年交流事業の実施に当たり、これまで中心的役割を果たしてきた(公財)鳥取県国際交流財団の内田常務理事とNPOグリーン・アクロス・ザ・ワールドのピーター・リンチ代表が、今後の交流の一層の発展を期し、「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定書(別添)



を締結した。

- ・平井知事は、西日本豪雨について報告するとともに、「未来は美しい夢を見る人のためにある」とのエレノア・ルーズベルトの言葉を引きながら、バーモント州との姉妹提携という夢の実現に果たした出席者の貢献を称賛するとともに、感謝の意を伝えられた。なお、米側出席者から多くのお見舞いの言葉が寄せられた。

### 3 草の根交流

#### (1) 医療分野

- ・平井知事は、「患者中心の医療」の先進施設であるバーモント大学医療センター理事会のメンバーであるマイケル・デリプリスコル氏と面会し、鳥取県立病院との交流について提案した。
- ・同施設において、患者・家族のことを反映させた施設・サービスや医師養成の仕組み等について視察するとともに、同センターの医師団の鳥取県招へい等について話しあった。

#### (2) 文化交流分野

- ・バーモント州の一般市民への鳥取県及び日本の文化の紹介事業として、モンペリエ市内で和楽器（箏）による演奏披露を行ったほか、語学学習について全米一との評価を受けているミドルベリー大学において、全米から夏期集中講座に集まっている学生に対し、琴演奏や着物着付けの体験事業を行い、多くの人に鳥取県や姉妹提携について理解いただいた。

#### (3) 青少年交流分野

- ・以前青少年交流をした両地域の関係者や交流に参加した青年が再会し、かつてバーモント州で行った自然体験事業を行って旧交を温めるとともに、青少年交流の発展に向けて今後も関係者が努力していくことを確認した。

#### (4) 教育分野

- ・両地域の高校生の国際的視野の涵養と異文化理解の促進、本県高校生の英語力向上等を図るため、徳田高等学校課長が、同州エセックス高校を訪れ、今後の高校生交流について協議した。
- ・本県の理数課題研究大会の優秀者の交流事業や鳥取商業高校との学校間交流について、早ければ来年度からの実施を目指し、今後も引き続き、調整を行うこととした。

▼姉妹提携記念式典（フィル・スコット知事と平井知事） ▼記念品（キー・トゥ・ザ・シティ）を交換する両知事

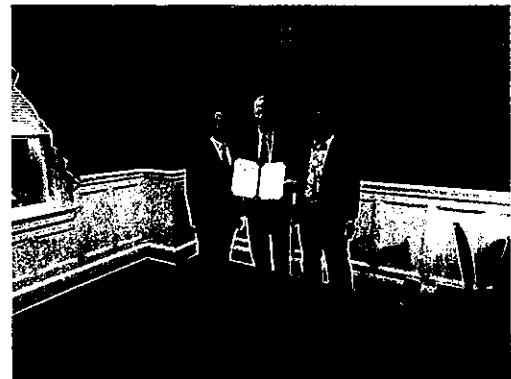


[バーモント州撮影]

▼道井在ボストン日本国総領事から表彰状の授与を受ける関係者



▼（公財）鳥取県国際交流財団とグリーン・アクロス・ザ・ワールドの協定締結



(添付資料) ・日本国鳥取県とアメリカ合衆国バーモント州との姉妹提携協定書

- ・日本国鳥取県公益財団法人鳥取県国際交流財団と米国ヴァーモント州グリーン・アクロス・ザ・ワールドの「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定書

## 日本国鳥取県とアメリカ合衆国バーモント州との姉妹提携協定書

日本国鳥取県とアメリカ合衆国バーモント州は、2008年に国際親善に関する覚書を取り交わし、様々な分野で交流を深めてきた。平井伸治・鳥取県知事、フィル・スコット・バーモント州知事は、これまでの交流により、両県州が互いに固い友情と信頼の絆で結ばれたとの認識を共有し、覚書締結から10周年を迎える2018年、正式に姉妹提携の協定を締結することで合意した。

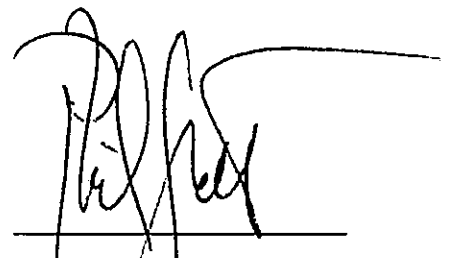
両県州は、この姉妹提携を機に、これまで行ってきた青少年交流や大学間の学術交流をさらに拡大するとともに、教育、スポーツ、商業、文化芸術など、より幅広い分野においても、交流の発展により、互いに利益と繁栄を享受できるよう、今後も両地域の絆を深めていくものとする。

この協定書は、日本語と英語により共に正文として作成し、署名の日をもって効力を発する。

2018年7月18日

平井伸治

日本国  
鳥取県知事  
平井 伸治



アメリカ合衆国  
バーモント州知事  
フィル・スコット

日本国鳥取県公益財団法人鳥取県国際交流財団と米国ヴァモント州  
グリーン・アクロス・ザ・ワールドの「環境学習を通じた青少年交流」  
に関する協定書

日本国鳥取県公益財団法人鳥取県国際交流財団及び米国ヴァモント州グリーン・アクロス・ザ・ワールドは、青少年同士の交流を通してお互いの教育、文化、環境、生活習慣の違い等を理解することを目的に、過去7年間にわたり青少年交流事業を行って参りました。

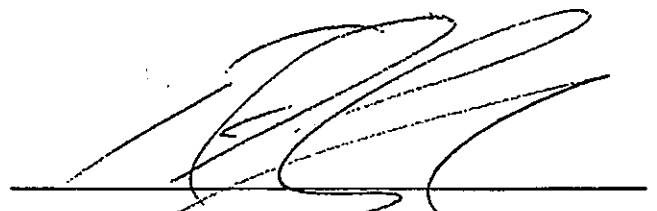
この度、鳥取県と米国ヴァモント州政府が「国際親善に関する覚書」を締結して10年が経過したことを機に、「姉妹提携」を締結されることに併せ、公益財団法人鳥取県国際交流財団とグリーン・アクロス・ザ・ワールドは、これまでの交流事業の成果も踏まえ、環境学習を通じた青少年交流を継続するため、ここに交流協定を締結する。

両団体は、2018年7月18日、米国ヴァモント州モントピリアにおいて、この協定書を日本語と英語により作成し、その内容を継続していくことを誓約する。

能勢隆之

日本国鳥取県  
公益財団法人鳥取県国際交流財団理事長

能 勢 隆 之



米国ヴァモント州  
グリーン・アクロス・ザ・ワールド代表

ピーター・リンチ

## 日本人ブラジル移住110周年記念祭典などへの鳥取県訪問団の派遣結果について

平成30年8月21日  
交流推進課

7月21日(土)に開催された「日本人ブラジル移住110周年記念祭典」、7月24日(火)に開催された「ブラジル鳥取県人会65周年記念式典」などに、鳥取県訪問団が参加しました。

### 1 訪問者(8名)

知事部局(岡村統轄監、交流推進課2名)、教育委員会事務局(足羽教育次長)、県議会(福間副議長、内田(博)議員、藤井議員、議会事務局1名)

### 2 主な日程

- ・7月20日(金) サンパウロ着、日本移民開拓先没者慰霊碑参拝など(サンパウロ市)
- ・7月21日(土) 日本人ブラジル移住110周年記念祭典(サンパウロ市)
- ・7月22日(日) プロミソン上塚植民地100周年記念式典(プロミソン市)
- ・7月23日(月) 第2アリアンサ鳥取村視察、ミランドポリス市長表敬(第2アリアンサ鳥取村など)
- ・7月24日(火) ブラジル鳥取県人会65周年記念式典など(サンパウロ市)
- ・7月25日(水) ブラジル三井住友銀行など、サンパウロ発

### 3 訪問概要

#### (1) 日本人ブラジル移住110周年記念祭典

[日時] 7月21日(土) 午前11時～午後1時30分

[場所] サンパウロ・エキスポエキシビジョン&コンベンションセンター(サンパウロ市内)

[概要]

- ・1908年に日本人が初めてサントズ港に到着してから110周年を迎えるのを記念して開催された祭典の行事の一つとして、ブラジル鳥取県人会や鳥取ブラジル友好協会、社会福祉法人あすなる会の方々と共に、しゃんしゃん傘踊りを披露した。
- ・眞子内親王殿下御臨席の下に開催されたオープニングセレモニーに、ブラジル在住の日系人や日本から参加の各県訪問団の方々などとともに参加し、日本人の移住110周年を祝すとともに、ブラジルにおいて確固たる地位を築いてこられた日本移住者の努力に敬意を表した。

#### (2) プロミソン上塚植民地100周年記念式典

[日時] 7月22日(日) 午後4時～午後8時

[会場] プロミソン市内

[概要]

- ・ブラジルへの日本人移民の父と言われている上塚周平(うねつか しゅうへい)氏が1918年にプロミソン市に日本人移民を雇い入れるための植民地を開設してから100周年を迎えるのを記念し開催された記念式典の行事の一つとして、ブラジル鳥取県人会の方々とともに、しゃんしゃん傘踊りを披露した。
- ・眞子内親王殿下御臨席の下に開催されたセレモニーに参加し、プロミソン市への入植100周年を祝した。

#### (3) ミランドポリス市長表敬・第2アリアンサ鳥取村視察

[日時] 7月23日(月) 午前9時～正午

[会場] ミランドポリス市役所、ミランドポリス市議会

[概要]

- ・第2アリアンサ鳥取村を管轄するミランドポリス市のヘジーナ・ムスタファ市長及びルシアーノ・ベルサーニ議長を表敬し、福間副議長及び岡村統轄監から、日系人や鳥取県ゆかりの方々に対する支援に対し感謝を述べた。ミランドポリス市長等からは、同市の発展に貢献した鳥取県人や日系人の方々への御礼が述べられた。

#### (4) 第2アリアンサ鳥取村の視察

[日時] 7月23日(月) 正午～午後7時30分

[会場] 第2アリアンサ鳥取村県人会館

- ・同地にて苦勞され、志半ばで逝かれた先人の方々の御冥福をお祈りするとともに、先人の業績に敬意を表し、福間副議長及び岡村統轄監が、第2アリアンサ鳥取村と引き続き交流を行っていきたい旨を表明した。
- ・教育委員会事務局の足羽教育次長が、日本語で漢字と書道について授業を行った。「人」及び「信」という漢字が持つ意味について、実際に筆で漢字を書きながら説明した。
- ・また、列席された第2アリアンサ鳥取村関係者の方々からは、継続した日本語教師派遣の要望があった。
- ・第2アリアンサ鳥取村日本語学校の生徒たちによる「ふるさと合唱」の披露などが行われた。

#### (5) ブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典参加

[日時] 7月24日(火) 午後6時～午後10時

[会場] ブラジル鳥取交流センター(サンパウロ市)

[概要]

- ・鳥取県を代表し、岡村統轄監が平井伸治鳥取県知事のメッセージを代読し、ブラジル鳥取県人会の創立65周年に祝意を表した。また、福間副議長、岡村統轄監、内田(博)県議会議員、藤井県議会議員が挨拶し、ブラジル鳥取県人会の創立65周年に祝意を表した。
- ・併せて、岡村統轄監から、これまでの功績を称え、ブラジル鳥取県人会会員のうち80歳を超える7名の高齢者表彰を行ったほか、福間副議長等から、今後のブラジルと本県との交流の発展を祈念し、ブラジル鳥取県人会ほか関係団体に記念品を贈呈した。

#### (6) その他

- ・日本移民開拓先没者慰霊碑参拝、ブラジル日本移民史料館視察、本県と交流のある松柏学園・大志万学園の生徒等との交流を行ったほか、ダイキンのブラジル子会社ダイキンマッケイブラジル社、日本にブラジル人労働者を派遣しているTGC社、三井住友銀行などを訪問した。

(参考)

#### ○ブラジル鳥取県人会

- (1) 設立 1952年 (ブラジルでの鳥取大火への義援金支援運動を契機)
- (2) 会長 山添源二(平成29年2月～)
- (3) 会員 約250家族

#### ○第2アリアンサ鳥取村

- (1) 世帯数 約35世帯 約150人(うち鳥取県関係2世帯)
- (2) 代表者等 第2アリアンサ日系文化体育協会 矢尾板 暉堃氏(やおいたてるの)
- (3) 移住経緯 1926年に鳥取県海外協会が、ブラジルサンパウロ州の奥地に3,000町歩(1町歩=1万㎡)の土地を購入して移住者を送り出した。「アリアンサ」とは、ポルトガル語で「協同・共生」を意味する。

▼日本人ブラジル移住110周年記念祭典での  
しゃんしゃん傘踊り披露



▼ブラジル鳥取県人会創立65周年式典で  
挨拶する福間副議長



# 名探偵コナンまつり in まんが王国とっりの開催結果について

平成30年8月21日  
まんが王国官房

平成30年8月18日、アニメ「名探偵コナン」のメインキャストの声優陣が一堂に会する「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」を開催しました。

本県がまんが王国とっりのPRとコナンファンの県内誘客につなげようと始めた同イベントも、今年で6回目を迎えました。今回は例年の豪華声優陣に加え、人気キャラクター「安室透」役の古谷徹さんが初出演し、事前申し込みの倍率が4倍近くになるなど、大盛況のうちに2,000人がイベントを堪能しました。

1 日程 平成30年8月18日(土) 午後1時半～同3時半(開場 午後0時半)

2 会場 とりぎん文化会館 梨花ホール(鳥取市尚徳町101-5)

### 3 イベント内容

(1) 声優トークショー

(2) アテレコ(ステージで上映される映像に合わせて声を演じること)、アニメの名シーンの振り返りなど

(3) コナン探偵社、グッドスマイルカンパニーによる関連グッズの販売・展示

### 4 出演者

江戸川 コナン(えどがわ こなん) 役	高山 みなみ(たかやま みなみ) さん
毛利 小五郎(もうり こごろう) 役	小山 力也(こやま りきや) さん
安室 透(あむろ とおる) 役(初参加)	古谷 徹(ふるや とおる) さん
読売テレビ(アニメ名探偵コナンチーフプロデューサー)	諏訪 道彦(すわ みちひこ) さん

### 5 入場者数

○1階席:約1,300席(※申込み受付期間:6月25日(月)午後1時～7月6日(金))

・今回の応募数は前年比1.8倍増の4,647席で過去最多であり、競争率は約3.7倍であった。

・県外応募者は3,242席で、全体の70%を占めた。

・当選者の内訳:県外が約840人(約7割)、県内が約360人(約3割)

○2、3階席:約700席

### 6 県内周遊

○北栄町及び北栄町観光協会と連携し、コナンまつり参加者の県内周遊、県内宿泊を促進しました。

8月17日(金)～19日(日)の間、事前入場整理券又は当日入場整理券を呈示された方のうち、

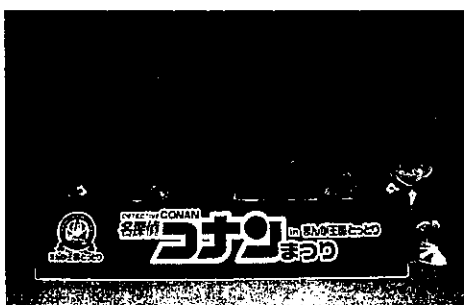
・青山剛昌ふるさと館で毎日先着100名に開館11周年記念ポストカードを贈呈した。

・北栄町観光協会では先着400名様にクリアファイルを贈呈した。

### 7 喫茶ポアロ完成記念セレモニー

【出演者】古谷徹さん 小山力也さん

○コナンまつり終了後に、7月28日の鳥取砂丘コナン空港リニューアルグランドオープンに合わせて完成した「喫茶ポアロ再現展示」で、声優による完成記念セレモニーを行いました。会場を埋めた約300人が、SNS等で鳥取砂丘コナン空港を拡散しました。



名探偵コナンまつり集合写真



喫茶ポアロ完成記念セレモニー

## 国際声優コンテスト「声優魂」inまんが王国とっとり決勝大会の開催について

平成30年8月21日

まんが王国官房

まんが王国とつとりを支える人材育成の一環として取り組んでいる「国際声優コンテスト『声優魂（せいゆうだまし）』inまんが王国とつとり」の決勝大会を、8月26日（日）に米子コンベンションセンター（小ホール）で開催します。

声優を目指す中高校生に夢へのチャレンジの機会を与えるもので、決勝大会ではプロの声優が審査に加わり、演技指導も行います。

72名が参加した予選（7月21日開催）を勝ち抜いた10名（県内7名、県外3名）がグランプリを目指して、セリフ、ナレーション、まんがのアテレコなどの課題に挑みます。

なお、昨年度の鳥取大会のグランプリ木村美言（きむら・みこと）さんは、全国大会で最優秀賞を受賞するなど、鳥取大会はレベルの高いと全国から注目されています。



### 1 決勝大会の概要

- (1) 日時 8月26日（日）午後1時30分から
- (2) 場所 米子コンベンションセンター 小ホール（米子市末広町294）
- (3) 出場者 県内外10名の高校生（うち県内7名）
- (4) 審査内容 セリフ、ナレーション、まんが等を課題として、発声や滑舌、演技を審査します。
- (5) その他 大会優勝者は、11月18日（日）にゲートシティ大崎（東京都品川区）で開催される全国大会出場権を獲得できます。

### 2 審査員

- 三木 眞一郎（みき しんいちろう）（声優）  
百田 英生（ももだ ひでお）（国際声優育成協会理事）  
酒井 抱一（さかい ほういち）（山陰放送営業総局事業部シニアリーダー）

#### 【決勝大会参加声優】

三木 眞一郎（みき しんいちろう）  
誕生日：3月18日  
出身地：東京都  
趣味：モータースポーツ  
主な出演作品：「ポケットモンスター」（コジロウ）  
「鋼の錬金術師」（ロイ・マスタング）  
「頭文字＜イニシャル＞ D」（藤原拓海）



#### <参考>

- 募集期間：6月1日（木）～7月10日（火）
- 出場者（応募資格 中学1年生～高校3年生）  
72人（県内46人、県外26人）  
（内訳）

鳥取県46人、島根県21人、大阪府1人、兵庫県1人、岡山県1人、広島県1人、長崎県1人

- 今年度の地方大会は、鳥取、京都、九州の3箇所の見込みです。（8月2日現在）

## フラダンス全国大会の開催について

平成30年8月21日  
中部総合事務所地域振興局

今年9月7～9日に県中部において「モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フラ・フェスティバル日本大会（フラダンス全国大会）」が開催されることになりました。

この大会は、中部地震からの福興をアピールし、また全国のフラダンスの愛好家が鳥取県中部に多く集うことを目指して、1市4町とKNT（近畿日本ツーリスト）ーCT（クラブツーリズム）ホールディングス株式会社が連携して開催されるものであり、その概要について報告します。

### 1 モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フラ・フェスティバル日本大会

毎年ハワイ島で開催されるフラダンスの世界大会への出場権をかけた日本の予選大会であり、「コンペティション」部門のカテゴリー優秀グループは世界大会への出場権を獲得できる。

### 2 大会概要

(1) 期 日 平成30年9月7日（金）～9日（日）

(2) 会 場 鳥取県中部（主会場：倉吉未来中心）

(3) 内 容

#### ○主会場

- ・コンペティション（競技・3部門（46歳以上（現代フラ）・13歳以上（現代フラ、古典フラ））
- ・エキシビション（日頃の成果を披露）
- ・ワークショップ（本場ハワイメンバーによる直接指導のセミナー）
- ・ハワイメンバーによるステージ
- ・湯梨浜町で開催されている「ハワイアンフェスティバルハワイ in ゆりはま」との友好を期するスペシャルコーナー

#### ○主会場以外

- ・中部管内各地域でのフラダンスイベントの開催  
（琴浦町：県立琴の浦高等特別支援学校での交流フラ、北栄町：早朝砂丘フラ、湯梨浜町：前夜祭、三朝町：三徳山奉納フラ）

(4) 実施体制

モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フラ・フェスティバル日本大会 in 鳥取実行委員会

名誉顧問：平井伸治鳥取県知事、鳥取中部ふるさと広域連合長

会長：岩崎元孝（一社）鳥取中部観光推進機構会長

委員：KNTーCTホールディングス株式会社、鳥取県、中部1市4町、中部管内観光協会、旅館組合、日本交通（株）倉吉営業所、日ノ丸自動車（株）倉吉営業所など

事務局：（一社）鳥取中部観光推進機構

### 3 主な動き

(1) 実行委員会の設立総会

①日時 平成30年3月27日（火）午後3時から

②場所 エキパル倉吉 多目的ホール

(2) 開催にかかる情報発信

①大会開催をPRするための動画撮影と発信

○日にち 平成30年7月22日（日）

場 所 円形劇場 倉吉フィギュアミュージアム

○日にち 平成30年8月1日（水）

場 所 倉吉淀屋

○その他、三朝町（河原風呂周辺）、湯梨浜町（グラウンド・ゴルフ場、今滝）、琴浦町（鳴り石の浜）、北栄町（コナン通り周辺）、大山町（大山寺 ※大山開山1300年祭も合わせてPR）の観光地で撮影し、HP等に掲載していく予定である。

②倉吉駅前PR看板設置

③県外PR

○アロハフラカーニバル：グランフロント大阪（8月17～19日）

(3) 参加者へのおもてなし等

○鳥取空港やJRC倉吉駅で、フラダンスを感じていただける装飾を施し、来場者等を歓迎する。

○主会場において、地元の食やお土産品を楽しんでいただく「B級グルメフェスタ」を開催する。



【設立総会の様子】



【PR用動画撮影】



【倉吉駅前PR看板】



## 夏の伯耆国「大山開山 1300 年祭」関係イベント、その他のトピックス等について

平成 30 年 8 月 21 日  
西部総合事務所地域振興局

「聖地の夏『大山 1300 年』の祝祭」(伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念式典、第 3 回「山の日」記念全国大会 in 鳥取)を中心に、伯耆国「大山開山 1300 年祭」の関係イベントの実施結果等を報告します。

### 1 聖地の夏「大山 1300 年」の祝祭(伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念式典等の開催)

#### (1) 記念式典 [主催:鳥取県・伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会]

1300 年に及ぶ大山圏域の歴史、文化、自然等の素晴らしさ、かけがえのなさを再確認し、新たな気持ちで地域の歴史に向き合い、次の 100 年に活かしていくことを誓い合う式典を開催した。

日時 平成 30 年 8 月 9 日(木) 10:00~14:30

会場 米子市公会堂(米子市角盤町)

出席者 約 900 名

鳥取県選出国會議員、県議會議員、関係自治体議員、1300 年祭アドバイザー等支援関係者、一般参加者等

概要

- ・ 主催者等挨拶
- ・ 眞子内親王殿下お言葉
- ・ 合唱「大山賛歌」(鳥取大学医学部混声合唱団)
- ・ 大山への誓い(大山町の小学生、等)
- ・ 記念講演 講師:松平 定知氏(元NHKアナウンサー)
- ・ 記念コンサート:松本 茜氏(米子市出身ジャズピアニスト) <大山への誓い>



○大山への誓いでは、大山小学校 6 年生、相見正邦氏(大神山神社禰宜)、國岡俊平氏(大山ブロッコリー生産者)、上野紀代子氏(大山山岳ガイド)、清水豪賢氏(大山寺観証院住職)等が登壇し、大山の歴史や文化を学び伝え、自然を守り育てること、地域を愛する思いや願いを県内外に発信することなどを誓い、「私たちは大山とともにある。大山さん、ありがとう」と感謝の気持ちを伝えた。

○式典の様子は、新聞、テレビニュース、ホームページ等で広く情報発信された。

#### (2) 交流レセプションの概要 [主催:鳥取県]

招待者の来訪を歓迎し、懇親を深めるレセプションを開催した。

日時 平成 30 年 8 月 8 日(水) 17:30~18:55

会場 ロイヤルホテル大山 2 階ロイヤルホール(西伯郡伯耆町丸山)

出席者 107 名

鳥取県選出国會議員、鳥取県議會議員、関係自治体議員、大山開山 1300 年祭アドバイザー等支援関係者、おもてなし料理創作関係者(米子南高生)等

○伯耆国「大山開山 1300 年祭」おもてなし料理、農産品、飲料水、地酒、ハム等の加工品などの大山周辺の特産品等を展示し、圏域の食の豊かさを PR した。

○伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念刀及び人形作品「御幸(御輿行幸)」を展示し、文化・伝統を PR した。

○山の日記念全国大会 in 鳥取開催記念「大山フォトコンテスト」の入賞作品 9 作品を展示した。

(3) 眞子内親王殿下御臨席

式典には眞子内親王殿下に御臨席いただき、「積み重ねてきた大山の恵みの価値が再確認され、国内外に知られていることは誠に意義深い。大山が多くの人に笑顔、憩いをもたらすことを願います。」とお言葉を賜った。

なお、前日の交流レセプションでは、米子南高校生徒をはじめ伯耆国「大山開山 1300 年祭」関係者と御歓談いただいた。



<眞子内親王殿下お言葉>



<交流レセプションの様子>

<聖地の夏「大山 1300 年」の祝祭>

◎第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取との一体開催により、8月8日～11日、「大山の歴史」や「自然保護と共生」を全国へ発信した。

伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念式典		第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取			
大山の歴史の素晴らしさ、かけがえのなさを再確認し、次の 100 年に活かしていくことを誓い合った。		自然保護憲章発祥の地である大山から自然保護の重要性・普遍性、山と共に生きる意義をアピールした。			
	8月8日(水)	8月9日(木)	8月10日(金)	8月11日(土・祝)	
午前	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■記念式典</li> <li>・合唱、宣言ほか</li> <li>■記念講演</li> <li>講師：松平定知氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「山の日」記念大山登山</li> <li>・山頂から記念メッセージの発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■記念式典</li> <li>(大山総合体育館)</li> <li>たきもとみおり</li> <li>・瀧本美織(ナビゲーター)</li> <li>・山鐘点鐘、メインアトラクション</li> <li>■トークセッション</li> <li>(米子市公会堂)</li> <li>だん</li> <li>・檀ふみ氏</li> <li>ぬきたむねお</li> <li>・眞田宗男氏</li> <li>やまだけいちろう</li> <li>・山田桂一郎氏</li> </ul>	歓迎フェスティバル
午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>■レセプション</li> <li>(ロイヤルホテル大山)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■記念コンサート</li> <li>出演：松本茜氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■レセプション</li> <li>(ANA クラウン プラザ ホテル 米子)</li> </ul>		

<参考：第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取の開催概要>

1 大会テーマ 「神います山と共に生き、歩む ～開山千三百年『山を守る聖地』<sup>だいせん</sup>大山から～」

2 「山の日」記念大山登山 (8/10(金) 5:30～13:30 頃)

登山家の<sup>ぬきたむねお</sup>眞田宗男氏をはじめ、全国山の日協議会など全国の山岳関係者が大山に集い、「一木一石運動」を行うとともに、「山を守る聖地」大山の山頂において全員で「山頂宣言」を発信し、大山の豊かな自然・歴史・文化を守り育む意識の醸成と大会の成功を祈念した(参加者 75 名)。



3 レセプション (8/10(金) 18:30～20:00 頃、ANA クラウンプラザホテル米子)

鳥取県が誇る食材を使用した食事や地ビール、地酒等でおもてなしを行い、大山など県内の山によって育まれた山海の幸を国内外の方に堪能いただいた(参加者約 300 名。 ※東アジア地方政府観光フォーラム (EATOF) 代表団も参加)。



4 エクスカーション (8/10(金))

20:00～21:00 城山(米子城跡)ミニ登山(ライトアップされた米子城跡を登山)

21:30～22:00 ナイトツアー お盆の大献灯(レセプション参加者のうち希望者)

5 記念式典 (8/11(土・祝) 9:15~11:00、大山総合体育館)

大山の豊かな魅力を通じて、人と山とが調和を続け、未来に歩いていくことを大山から発信するメインアトラクションを実施するとともに、「とっとり大山『山の日』憲章」を発表した(出席者約700名)。

〔内容〕主催者等挨拶、山鐘点鐘、メインアトラクション(ナビゲーター: 瀧本 美織氏)  
リレーセレモニー(次回開催地・山梨県への「山の日帽」引継ぎ)、  
とっとり大山「山の日」憲章

6 トークセッション (8/11(土・祝) 14:00~15:00、米子市公会堂)

山を守る理念と重要性を伝えるとともに、山とともに生きる意義や誰もが山を楽しめる取組等を世界の山々での事例等を交えて発信した(出席者約700人)。

〔内容〕朗読「暗夜行路」、トークショー  
〔出演者〕檀 ふみさん(女優)、貫田 宗男さん(登山家)、  
山田 桂一郎さん(観光カリスマ)  
(全体進行: 萩原 浩司さん((株)山と溪谷社  
執行役員))



7 エクスカーション (8/11(土・祝))

15:15~16:30 米子城下町観光~米子城下町・加茂川の地蔵さん巡り~  
米子城下町を舞台とした町歩き(①地蔵巡りコース、②遊覧船乗船コース)  
17:00~18:00 城山(米子城跡)ミニ登山(米子城跡を舞台としたミニ登山)

8 歓迎フェスティバル (8/11(土・祝))

<来場者> 約4,800名(森の恵み感謝祭: 2,500名、里の恵み感謝祭: 2,300名)

名称	森の恵み感謝祭	里の恵み感謝祭
場所	大山国体広場(大山町)	米子市公会堂前広場~える・もーる(米子市)
時間	9:00~15:00	11:00~17:00
概要	県内各地の木工製品等の紹介や森が育んだ豊かな食や水を存分に味わうイベントを開催した。	大山を中心とする山から里にかけての産品や文化芸能に親しむイベントを開催した。
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山町の小学生と県警音楽隊の合唱</li> <li>・表彰式(大山フォトコンテスト、自然公園関係功労者表彰)</li> <li>・大山町ふるさと大使(桂木龍氏)、琴浦町観光大使(ミッキー吉野氏)による歌ステージ</li> <li>・丸太切り体験</li> <li>・チェーンソーアート</li> <li>・物販・飲食(大山町地元企業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇団ゆめによる演劇「大山開山1300年記念ミュージカル『みどりの風』」</li> <li>・とりアートによる県内の芸術団体のパフォーマンス(伝統芸能、ダンス、合唱等)</li> <li>・降雨体験機</li> <li>・ポニーとのふれあい体験</li> <li>・土砂災害防止砂防堰堤簡易実験</li> <li>・物販・飲食(米子マルシェ、大山ブランド会等)</li> </ul>
当日の様子		

2 伯耆国「大山開山1300年祭」関係イベントの実施状況 (※主なもの。開催中のものを含む。)

(1) 大山山麓の至宝~「大山」ゆかりの刀を中心に~

〔主催: 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会、米子市ほか〕

○大山ゆかりの名刀の数々や大山山麓の重宝等を展示し、古くからたたら製鉄が営まれ、名工・伯耆安網を輩出した刀剣文化など伯耆国圏域の歴史・文化を情報発信している。

○安綱在銘の太刀3振り、古伯耆2振りを同時に鑑賞できる特別な展示となっている。

※8月8日(水)、眞子内親王殿下がご視察、熱心に鑑賞され、学芸員の説明に対し、「美しいですね」等とコメントされた(日本刀のフォルムや刃文などに関心を持たれていた模様)。

【来場者数】2,149人(7/29~8/13)

日時 7/29(日)~8/26(日) 10:00~18:00 ※水曜日休館

場所 米子市美術館

観覧料金 当日:一般800円/大学生400円

### 【「春日大社・鳥取県共同記者発表会」の開催結果】

○東京都内で首都圏メディアを集め、春日大社・鳥取県による共同記者発表会を開催し、「大山山麓の至宝」展や古伯耆物など「安綱」を中心とした日本刀の魅力をPRした。

- (1) 日時 7月27日(金) 午後3時から4時まで
- (2) 場所 都道府県会館1階101大会議室(東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館)
- (3) 出演者 平井知事、春日大社 宮司 花山院弘匡(かさんのいん・ひろただ)氏、  
刀匠 川崎晶平(かわさき・あきひら)氏、  
鳥取県立博物館 主任学芸員 来見田博基(くるみだ・ひろき)

#### (4) 内容

- ・平井知事から1300年祭や「鍛刀地」としての伯耆国の魅力、「大山山麓の至宝」展の見どころについて説明した。
- ・花山院宮司は、春日大社蔵「古伯耆物」について「ほぼ新品の状態。900年ぶりの伯耆国への里帰りで多くの方に見ていただきたい」と紹介した。
- ・刀匠の川崎晶平氏は、刀匠の立場から「安綱」の刀の魅力やあこがれについて語り、「目線を刀と平行にし、光を入れながら刀に沿って見るとよい」等、刀剣鑑賞のポイントも説明した。
- ・来見田学芸員は「大山山麓の至宝」展の概要や展示する太刀について説明した。



#### (5) 参加者実績

- ・24媒体32名が参加(TOKYO MX、NHK エデュケーショナル、日経BP、宝島社、扶桑社、聚美社、新聞各社 ほか)
- ・多くのメディアに記者発表会に参加いただき、効果的な情報発信となった。

## (2) 「伯耆因幡の郷土刀」展 [主催:鳥取県の郷土刀展実行委員会]

○数百年を経てなお輝き続ける日本刀の魅力、安綱・真守をはじめ伯耆因幡の刀匠たちの技の結晶の鑑賞を通じ、大山の豊かな自然がもたらした歴史や文化、そこから生まれた技を紹介する。

○刀剣博物館(東京都)が所蔵、保管する安綱とその子・真守の太刀2点の他、日本美術刀剣保存協会鳥取県支部会員らが所蔵する室町時代末期から明治時代に作られた伯耆因幡の郷土刀27点、鐔や拵など刀装具40点を紹介している。

日時 8月4日(土)~26日(日) 9:00~17:00

※月曜休館

場所 倉吉博物館

作品 ・太刀 銘 安綱

・太刀 銘 大原真守 ほか



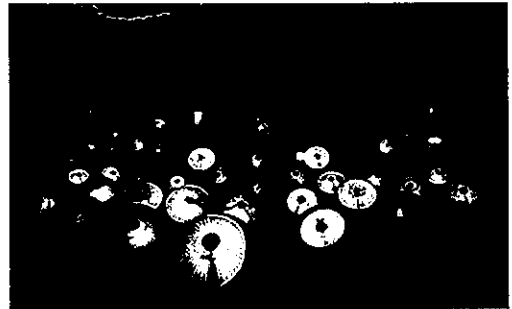
(3) 大山の大献灯 [主催:大山夏祭り実行委員会]

○和傘、絵灯ろうが夜の大山を幻想的にライトアップする、大山の夏の風物詩「お盆の大献灯」を期間拡大して開催中である。

※例年、お盆の3日間は大変混雑しているが、期間拡大により、観光客の分散を図るとともに、より多くの方に大献灯を鑑賞いただき、誘客を拡大する。

○今年は、和傘を20本増やし、約120本でライトアップしている。

期間 ①8/10(金)～8/15(水)  
②8/24(金)～8/26(日)  
③9/22(土)～9/24(月祝)  
※8/14, 15は和傘灯りは無し  
時間 19:30～21:30 (最終入場時間)



(4) 皆生温泉ライトアップ — 皆生温泉・四条通り 紋様灯籠 —

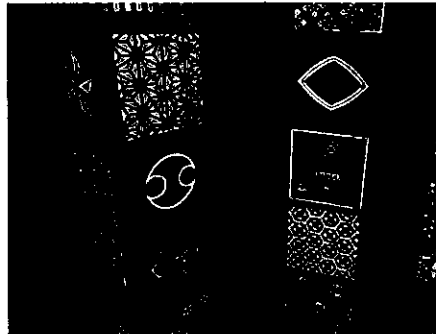
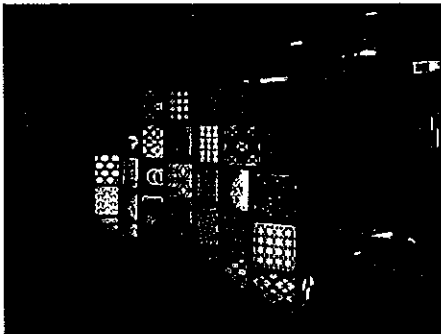
[主催:皆生温泉街歩き魅力増進事業実行委員会]

○大山山麓の宿としての皆生温泉のブランド力・魅力向上のため、皆生温泉観光センターから海岸に向かって伸びる「皆生温泉・四条通り」でライトアップを実施中である。

○色彩豊かで、大小様々な「紋様灯籠」により、情緒豊かに皆生温泉街を演出している。

期間 8/6(月)～8/19(日)の計14日間

時間 日没～午後10時



(5) 伯耆国「大山開山1300年祭」記念 ギターとチェロとフルートで紡ぐ旅

[主催:大山夏祭り実行委員会]

○大山開山1300年祭を記念し、一昨年から3年連続で開催しているクラシックコンサート。

※3回目の今回はフルートが加わり、ギター・チェロ・フルートによる三重奏を行う。

○大山中腹の大自然に囲まれた絶好のロケーションの中、100人を超える観客がバッハの名曲や大山賛歌等を満喫した。

日 時 8/12(日) 16:00～  
場 所 モンベル大山店2階(大山町)  
特別協賛 (株)インフォメーション・ディベロプメント  
奏 者 ギター 河野智美さん  
チェロ 村岡苑子さん(※北栄町出身)  
フルート 上田草代さん



### 3 近日開催予定の伯耆国「大山開山 1300 年祭」関係イベント

#### (1) 大山「星」のフェスティバル〔主催:伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会〕

- 解説付きの星空観察、移動式プラネタリウムによる全天周番組上映などを通じて、大山圏域の星空の楽しみ方、遊び方を提案し、星空観賞の適地である圏域の魅力をアピールする。
- 大山町会場では、倉吉市出身の雅楽奏者・高多祥司<sup>たかたしやうじ</sup>ら東京楽所<sup>がくそ</sup>のメンバー3人をお招きし『星と雅楽の夕べ』と銘打ち、雅楽演奏会も開催する。

江府町会場	大山町会場
日時 8/25(土)	日時 9/15(土)
場所 休暇村奥大山	場所 むきばんだ史跡公園



#### (2) 大山開山 1300 年記念「大山 24hours」柄木孝志写真展

〔主催:(一財)植田正治写真美術財団〕

- 大山の自然や風景を中心に撮影されたフォトグラファー・柄木孝志氏の写真約 50 点を展示し、その写真を通して、大山の魅力をアピールする。

期 間 9/8(土)～10/8(月祝) ※火曜日休館

会 場 植田正治写真美術館

観覧料 無料 ※ただし、2・3階の植田正治写真展の観覧には入館料が必要。

備 考 関連イベントとして、ギャラリートーク、ダイヤモンド大山撮影会を開催する。

#### (3) 東大山古道トレッキング〔主催:特定非営利活動法人未来〕

- 東大山エリアを舞台に、歴史をたどるロングトレイルや関金温泉と旧国鉄倉吉線廃線跡を巡るトレイル、大山滝のトレイルなど、さまざまなコースのトレッキングイベントを行う。
- 参加者の嗜好、体力などに合わせ、4つのコースを選択できる。

##### ア 大山開山 1300 年・歴史を辿るロングトレイル

(9/14(金)～16(日))

総距離 53.8km

定員 20名

##### イ 関金温泉と旧国鉄倉吉線廃線跡トレイル (9/15(土))

総距離 ロングコース 14km、ショートコース 6.5km

定員 400名

##### ウ 森林浴スポット 大山滝トレイル (9/16(日))

総距離 5km

定員 50名



#### (4) 山ガールサミット in 鳥取大山〔主催:鳥取県〕

- 全国の山ガールが集い、登山、ライブ、クッキング等を通じて交流を深めるイベント。

日時 9月16日(日)、17日(月・祝)

会場 大山博労座第4駐車場等

内容 大山トレッキング、大山絶景ハイキング、フォト講座トレッキング、クッキング講座、青空ライブ ほか

#### 4 その他近日開催予定の伯耆国「大山開山 1300 年祭」関係イベント等

項目	開催日	内容
<b>大山山麓の謎解き宝探し</b> 主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会	7/1(日)～ 9/30(日) ※開催中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所等で配布される宝の地図を手掛かりに、謎を解きながら隠された宝箱を見つけ出すイベントを行う。</li> <li>・若年層をはじめ幅広い層に、楽しみながら大山圏域の歴史・文化・自然に親しんでいただく。</li> <li>・クリア賞のほか、クリアしたエリアに応じて、総計 200 名の方に地元特産品などの賞品が抽選で当たる。</li> <li>・今年度はエリアを 5 つに拡大(大山寺地区、米子市内、境港市内、倉吉市内、日野町内)</li> </ul>
<b>大山開山 1300 年と大山供養田植</b> 主催：庄原市教育委員会	7/28(土)～ 9/2(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県庄原市では、大山信仰に基づく「大山供養田植」(国指定重要無形民俗文化財)が、今なお大切に伝承されており(4年に一度現地公開)、本年も 5/27(日)に公開された。</li> <li>・庄原市博物展示施設「時悠館」で、開館 15 周年の記念企画展として、本年行われた現地公開の様子を紹介する。</li> <li>※8/19(日)、大山開山 1300 年に関する記念講演も行う(講師：大山町教育委員会 野口里美氏)。</li> </ul>
<b>妖怪ナイトウォーク</b> 主催：水木しげるロード・リニューアル大作戦本部	8/4(土)～ 8/26(日)の 土日及び盆 ※開催中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が妖怪の着ぐるみとともに水木しげるロードを歩くウォーキングイベントを実施。</li> <li>・無料のスマートフォンアプリなどを活用し、「のんのんばあ」の読み語りや、指定ポイントで妖怪と記念撮影ができるフォトスタンプなどのサービスも提供。</li> </ul>
<b>祐生コレクションによる「民衆の暮らしに寄り添う神仏の世界展」</b> 主催：祐生出合いの館	8/4(土)～ 9/24(月) ※開催中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山寺真景図をはじめ、掛軸、お札、朱印等 698 点を展示し、人々の暮らしに寄り添い、人々の生活を支える祈りの歴史・文化に触れていただく。</li> </ul>
<b>大山講座(歴史講座 2)</b> 主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会、新日本海新聞社	8/23(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子の「地藏さん祭り」で賑わう旧市街地・加茂川沿いに点在する地藏を巡り、日本遺産のストーリー、ぼんぼりの灯る下町の風情などを楽しむ。</li> <li>※現在、日本海新聞紙面等で募集中(先着 100 名)</li> </ul>
<b>ミニたたらワークショップ(第 3 回)</b> 主催：とっとり中部ものづくり道場	8/25(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度に関金温泉開湯 1300 年祭の一事業として実施し、好評を得たワークショップを、大山圏域のたたら文化を体感できる観光商品として定着させる。</li> <li>・全 4 回(①炭作り：6/23、②砂鉄集め：7/29、③たたら操業：8/25、④鍛冶体験：9/22)</li> </ul>
<b>鳥取県青少年郷土芸能の祭典 2018</b> 主催：(公財)鳥取県文化振興財団	8/26(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山開山 1300 年祭を祝い、全県から多彩な郷土芸能が集結。ブナの緑が生い茂る夏山大山をバックに、大自然に囲まれたステージで子どもたちが熱演、躍動。</li> <li>[演目] 高城牛追掛飾、荒神神楽「八重垣能」、淀江さんこ飾、米子がいな太鼓、三朝さいとりさし、因幡の傘踊り、塩原の大山供養田植(県外ゲスト出演。広島県庄原市)、大山僧兵太鼓(特別ゲスト出演)ほか</li> </ul>
<b>1300 年祭記念野外ライブ</b> 主催：エフエム山陰ほか	9/2(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽園音楽祭 2018 スターダスト☆レビュー in とっとり花回廊」。伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレゼントとして開催する。</li> </ul>
<b>地藏フォトロゲイニング in 大山寺</b> 主催：大山ツーリズム協議会	9/9(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゲイニングは、チェックポイントが記された地図をもとに制限時間内にチェックポイントを回り、どれだけ得点を獲得できるかを競うスポーツ。</li> <li>・大山開山 1300 年を記念して、地藏信仰の地「大山寺」周辺でお地藏様等をチェックポイントとして開催する。</li> </ul>
<b>雅楽演奏会</b> 主催：NPO 法人養生の郷	9/14(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮内庁式部職楽部のメンバーを主体に創設された「東京楽所」に所属する倉吉市出身の雅楽奏者・高多祥司さんの協力をいただき、大山の悠久の歴史を感じさせる雅楽演奏会を開催する。[場所] やまもり温泉キャンプ場(倉吉市)</li> </ul>